

《費用対効果分析説明資料》

事業名	県営フォレスト・コミュニティ総合整備事業	地区名等	上十川大川原
-----	----------------------	------	--------

【費用対効果の算定内容】

1. 費用対効果の算定根拠

「林野公共事業における事前評価の手引き」平成19年版（編集・発行 社団法人日本林業協会）による。本手引きは、森林整備、林道開設等の事業整備（総費用C）によってもたらされる、各種期待される効果（森林整備等を行うにあたり、本事業を実施した場合としなかった場合の便益と費用の差）を便益（B）として評価するものである。

2. 森林整備（林道）事業に要する費用

C：総費用 = 2,488百万円

総費用算出根拠

林道整備等に要する費用（林道事業負担額）と維持管理費に要する費用を現在価値化したものの総和。

評価期間（整備期間+耐用年数40年）

- ・現在価値化 = 社会的割引率（4%）により価値化する。
- ・総事業費（林道事業費） = 2,128百万円

3. 森林整備（林道）事業の効果（便益）

B：総便益 = 4,724百万円

総便益算出根拠

・林道整備によりもたらされる森林整備促進によって得られる効果額を現在価値化したものの総和。

各種便益（本事業で対象としている項目）

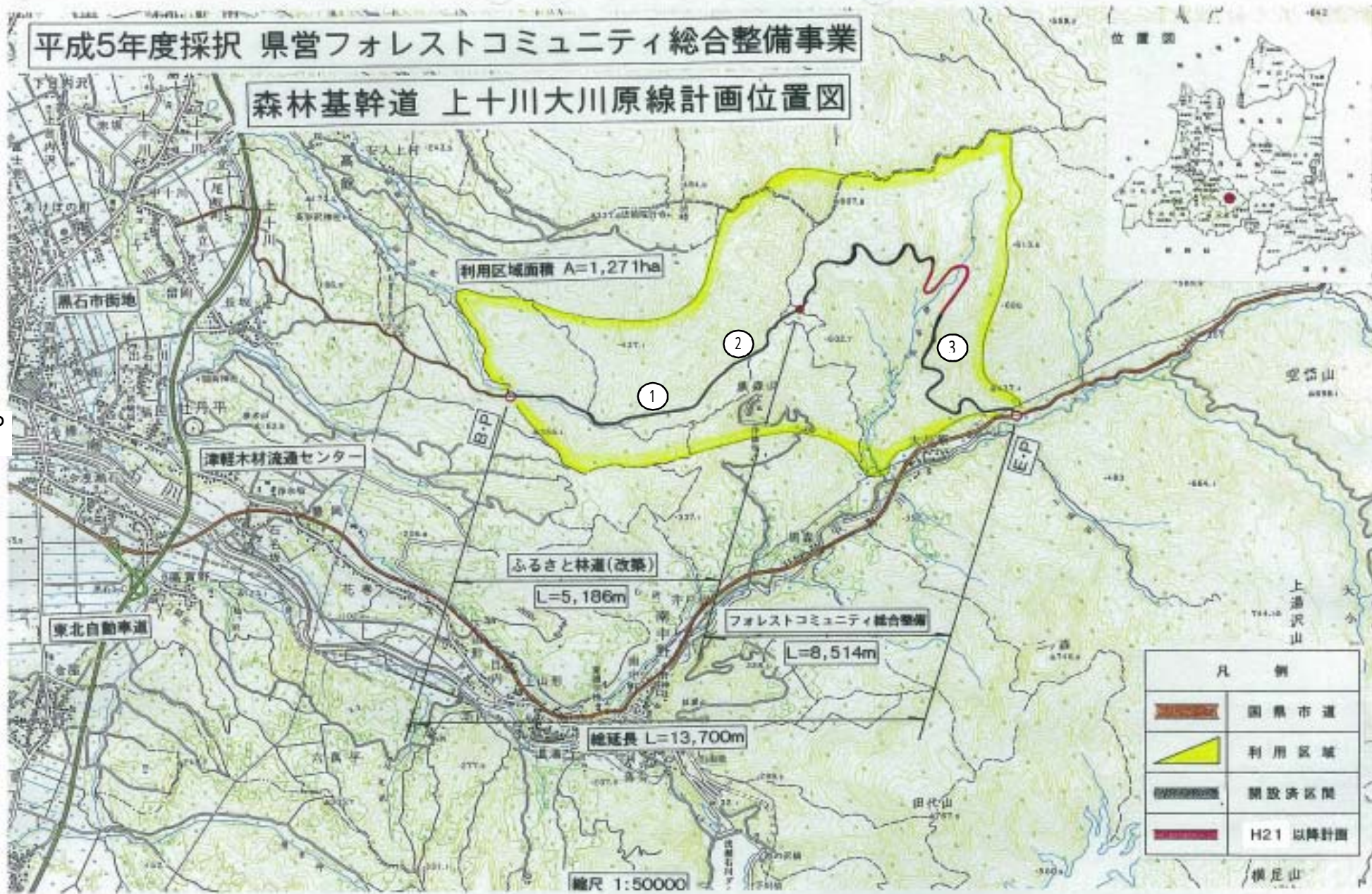
- ・林業生産便益
 - 木材利用増進便益
 - 木材生産便益（路網整備による増進分）
- ・森林整備経費縮減等便益
 - 造林作業経費縮減便益（作業道作設経費縮減便益）
 - 森林整備促進便益
- ・森林の総合利用便益
 - フォレストアメニティ施設利用便益（利用確保便益）
- ・その他の便益
 - 通行安全確保便益
 - 環境保全確保便益
 - ボランティア便益

【費用対効果分析の結果】

B / C（再評価時点） = 4,724百万円 / 2,488百万円 = 1.90

平成5年度採択 県営フォレストコミュニティ総合整備事業

森林基幹道 上十川大川原線計画位置図



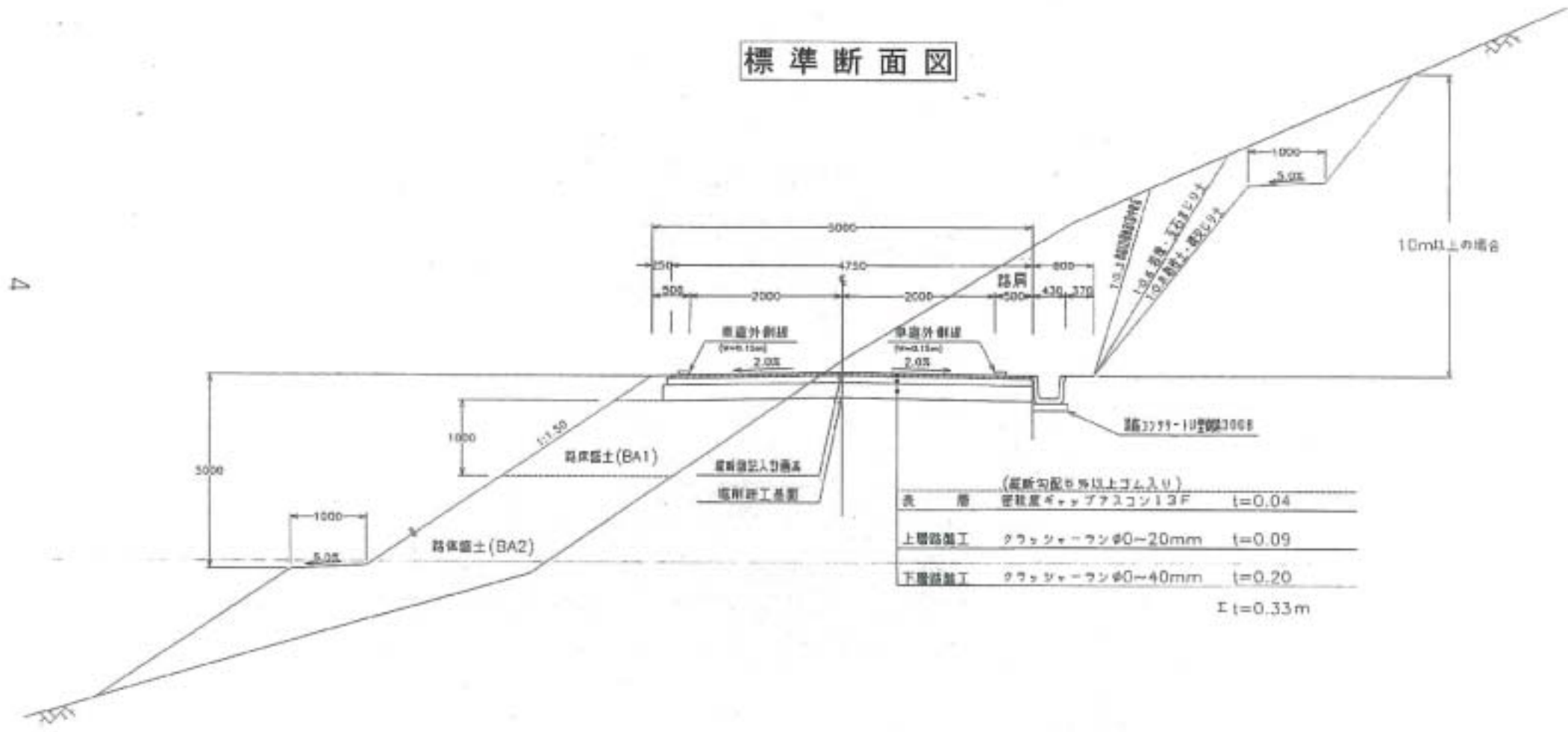
森林基幹道 上十川大川原線見取図



凡 例	
---	市町村界
▲	利用区域
▲	民有保安林
▲	国有保安林
▲	官行造林地
—	開設済区間
- - -	計画区間

森林基幹道 上十川大川原線開設事業

標準断面図



①

森林基幹道 上十川大川原線開設事業

5



開設前



開設後

森林基幹道 上十川大川原線開設事業

②



開設状況

③



開設状況